

平成25年12月10日（火）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成25年度第9回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成25年12月9日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、12件が対応方針（原案）のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価
URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、
千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）
048-600-1329（夜間直通）
地方事業評価管理官 すぎざき 杉崎 みつよし 光義（内線2118）
企画部技術企画官 おさない 小山内 ひでお 英雄（内線3126）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会 (平成25年度第9回)

議事概要

1. 日 時 平成25年12月9日(月) 15:00~18:30
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁 (東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授)

[委員]

楓 千里 ((株)JTBPブリック執行役員ソリューション事業本部副本部長)

蟹澤 宏剛 (芝浦工業大学工学部建築工学科教授)

佐々木 淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

清水 義彦 (群馬大学理工学研究院教授)

堤 マサエ (山梨県立大学国際政策学部総合政策学科名誉教授)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 深澤、副局長 稗田、総務部長 青木、企画部長 石橋、
河川部長 泊、道路部長 後藤、港湾空港部長 松永、営繕部長 羽山、
用地部長 河井 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局のダム事業 1 件、道路事業 1 件、港湾事業 3 件、営繕事業 7 件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、12 件を対応方針（原案）のとおりに、了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
ダム	○	ハッ場ダム建設事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
道路	○	一般国道16号 保土ヶ谷バイパス (Ⅱ期)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
港湾	○	鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
		川崎港東扇島～水江町地区臨港道路整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
		千葉港葛南中央地区国際物流ターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
営繕	○	栃木地方合同庁舎	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
	○	横浜地方合同庁舎	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおりました承
	○	館林税務署	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおりました承
	○	豊島地方合同庁舎	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおりました承
	○	王子地方合同庁舎	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおりました承
	○	新宿若松地方合同庁舎	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおりました承
	○	大久保地方合同庁舎	関東地方整備局	中止	対応方針(原案)のとおりました承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業